

最期まで
自分の家で
暮らしたい

在宅医療と 介護のススメ



◎ 在宅医療をご存知ですか？

在宅医療とは、高齢者の方をはじめ、病気や障害など様々な事情により通院が困難な患者さんが、住み慣れた自宅や施設等で必要な医療や介護サービスを継続して受けられることを言います。超高齢社会を迎えた日本では、長期の療養生活を送り、病院で死を迎える方が約 8 割にもなっています。「住み慣れた自宅で療養したい」という希望はあるものの、「家族の負担が心配」「どのような治療が受けられるの？」など疑問も多い状況だと思います。入院だけでなく、地域で支える在宅での医療・介護を選択できるよう、土浦市では「在宅医療・介護連携拠点事業」に取り組んでいます。

土浦市の目指すテーマ
安心して住み慣れた地域ですごすために
～いのちを支える医療と介護の輪～



まずは相談から



色々分からない事や困った事だらけ。
誰に相談したら・・・？

☆行政に相談する

市役所高齢福祉課・地域包括支援センターでは、介護保険サービスを始めたことでの相談や、高齢者の方の総合相談に応じています。

土浦市高齢福祉課

☎826-1111 (内線2500)

土浦市社会福祉協議会地域包括支援センターうらら

☎824-0332

☆かかりつけ医・主治医に相談する

在宅医療を希望したら、一人で抱え込まず、かかりつけ医や入院している病院の主治医・看護師・医療ソーシャルワーカー等に「在宅で医療サービスを受けられないか」相談してみましょう。

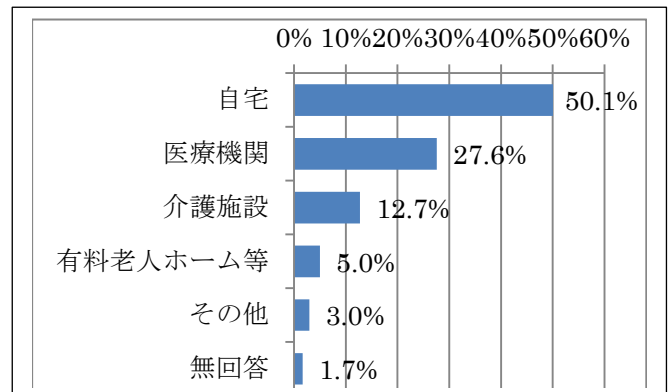
☆ケアマネジャーに相談する

介護保険制度を利用している場合は、ケアマネジャーに相談してみましょう。

在宅医療に関するアンケート

土浦市の65歳以上の高齢者人口は、平成27年4月1日現在で37,215人で、高齢化率は25.75%に達し、今後も増える見込みです。平成26年度に市では、在宅医療に関するアンケート調査を実施しました。(n=841人)

問：あなたが将来、看取りを迎える場として、どこを希望しますか？



ご自宅で看取られたいと考える方が、半数を超えていました。その反面、実現は難しいと考えている傾向も見られました。

市では、医療・介護・福祉が連携して、可能な限り住み慣れた地域で療養していく事を目指しています。

☆身近なかかりつけ医を持ちましょう



総合病院は、専門的な治療を受ける時には頼りになりますが、住まいの近くにある診療所や病院の先生を「かかりつけ医」として決めておきましょう。

かかりつけ医は、皆さん一人一人のこれまでの病気や生活状況を把握し、飲んでいる薬も分かった上で総合的に診療をしてくれます。顔なじみのお医者さんは、相談もしやすくなります。また、通院が難しくなったら往診を相談することもできます。

☆在宅医療を支える専門職種の情報？

在宅医療を支援してくれる医療機関や介護保険サービス提供事業所を、土浦市公式ホームページにまとめてあります。ぜひご覧ください。

土浦市在宅医療・介護連携

検索

